

令和2年4月2日

令和2年度 北九州市立楠橋小学校 学校経営の基本方針

北九州市立楠橋小学校
校長 戸田 堅

1 北九州市教育大綱

「SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成」

- 本市に誇りをもつ子ども
- 新たな価値創造に挑戦する子ども
- 自立し、思いやりの心をもつ子ども

2 北九州市教育委員会 「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」

- 時代を切り拓く力の育成
- 働きがいのある学校づくり
- 安心の学びの場づくり
- 市民総ぐるみでの支援
- 未来を見据えた環境整備

3 学校教育目標

心豊かで たくましく 実践力のある子どもの育成

4 目指す学校像 「子どもたちの笑顔あふれる学校」

- ・ 子どもをど真ん中においた、楽しい学校
- ・ 温かい人間関係と信頼で結ばれた学校
- ・ 子どもが力をつけ、自分の価値を感じる学校
- ・ 地域に開かれた学校

5 目指す子ども像

- 思いやりのある子（徳）
「相手を思いやり、仲良く助け合える子ども」
- 健康でたくましい子（体）
「健康で、最後まで粘り強く頑張れる、たくましい子ども」
- かしこい子（知）
「進んで学び、自分で考え、よりよく行動できる子ども」

6 目指す教師像

- 子どもに明るく接し、温かい指導をする教師
- 組織の一員としての自覚をもち、協調性をもつ教師
- 子どもを伸ばすために、努力を惜しまない教師
- 教職の専門性、とりわけ人権意識と指導力の向上のために常に自己研鑽に努め、自分をより良く変容させる努力をする教師
- ワーク・ライフ・バランスを意識し、業務改善に取り組む教師

7 重点目標

(1) 好ましい人間関係の構築

- 子どもと教師との友好的人間関係をつくる。
 - ・学級事務を効率化し、子どもと触れ合う時間を確保する。
- 子どもと子どもとの友好的人間関係をつくる。
 - ・子どもたちの情報を共有する。
- 保護者と教師との友好的人間関係をつくる。
 - ・保護者が教師に好感をもてば、子どもにもよい影響が出る。
 - ・日頃から、家庭訪問や電話・連絡帳・手紙等で連絡を取り合う。
 - ・地域行事にも積極的に参加や協力をする。
- あいさつ指導を徹底する。(明るく気持ちの良いあいさつができるようにする。)

(2) 安全・安心な学校づくり

- 学年や学級の課題を全職員で共有し、一人一人の児童を全教職員で育てる。
- 生徒指導を充実させる。
 - ・「報・連・相」を徹底し、早めの対応により問題発生及び重大化を防止する。
- 子どもたちの安全を守る。
 - ・定期的なないじめアンケートにより、子どもたちの人間関係の把握及びいじめの早期発見・早期対応を行う。
 - ・定期的な研修や事務改善会議及び安全点検を実施し、危機管理意識を高める。
- 職員の心と体の健康を守る。
 - ・教師が元気な学校は、子どもにとって「よい環境」となる。
 - ・何でも話することができる職場の雰囲気をつくり、問題事象を一人で抱え込まない組織にする。(風通しのよい職員室)

(3) 学力・体力の向上→「わかる」「できる」授業づくり

- 授業改善に取り組む。「話し合う活動」「書く活動」を位置付ける。
- 聞く力(態度)を育成する。
- 少人数指導の工夫をする。(少人数・TTでの指導～重要単元の精選)
 - ・指導工夫改善教員、児童生徒支援加配教員、学習指導支援員と連携する。
- 「朝の10分間読書」「読み聞かせ」「くすの子タイムⅠ・Ⅱ」「昼休みや放課後学習会」「子どもひまわり学習塾」を継続する。
- 保健体育専科教員と連携する。
- 体力アップ1校1取組を推進する。

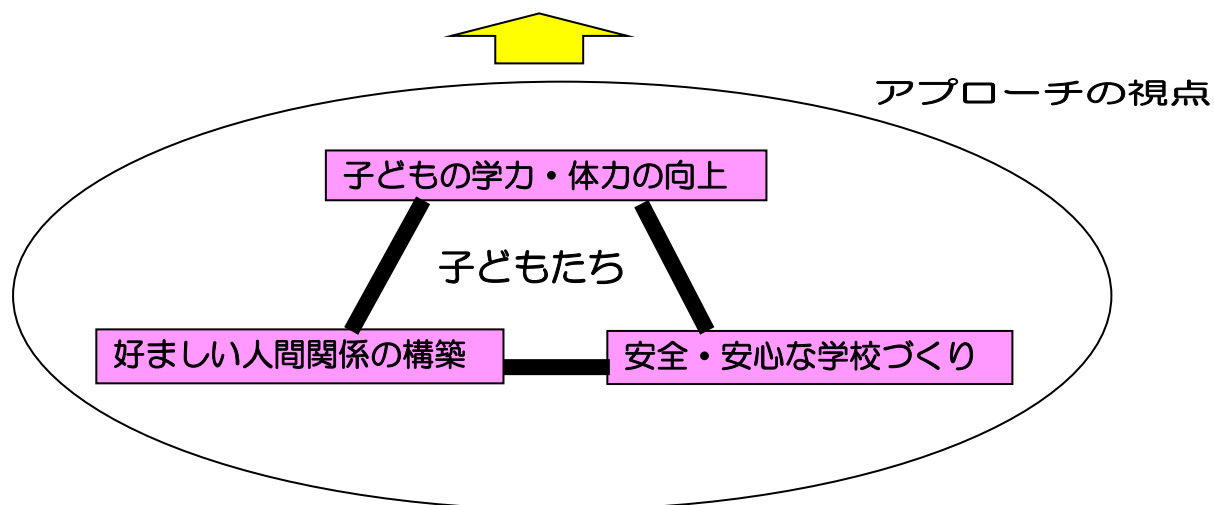
(4) スクールプランの推進

- スクールプランに基づき、学校全体の取組のベクトルをそろえ、課題の明確化と課題解決に向けた具体的な取組をする。

(5) SDGsの視点を踏まえた教育の推進

- 学校や地域の特色を生かした取組をする。
- 学習内容がSDGsのどのゴールに関連するのかを、教師が意識し、子どもたちに意識させる授業を行う。

子どもたちの笑顔あふれる学校の創造



※ スクールプランの推進

※ SDG s の視点

25名 すべての教職員で！



楠橋小 ちびっこ広場の一本桜